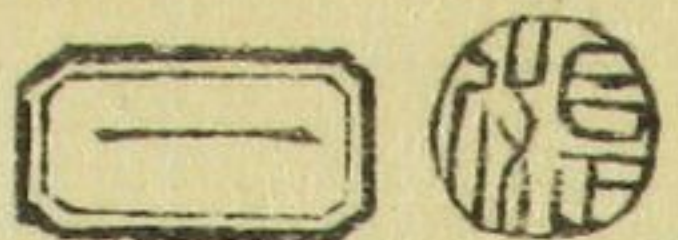




室原

十九編上



室町源氏胡蝶
卷柳種彦
仙梅亭馬園

上



忠臣藏ハ戯場道の獨參湯田舎源氏ハ合卷の犀
角あるべし渠ハ忠士と愛する所以と如何なる艷の小
夜夜仇と結びし出雲が神作是ハ兩士が確執を摧く
の謂ふ光氏がそる歩行の小夜夜重る光景を綴るあり
せし古入が切といふなるこの自己耳頃の上迄も此糟粕
心を酔せど毒もあらず薬もあらず著述のそと多
かりしを。开も此牌史ハ初編よりひらひら愛顧を蒙
りしハ諺より敷醫者ガ犀角を得し思ひよそそ
あれ

明治三庚午初春發兌

柳亭種彦記

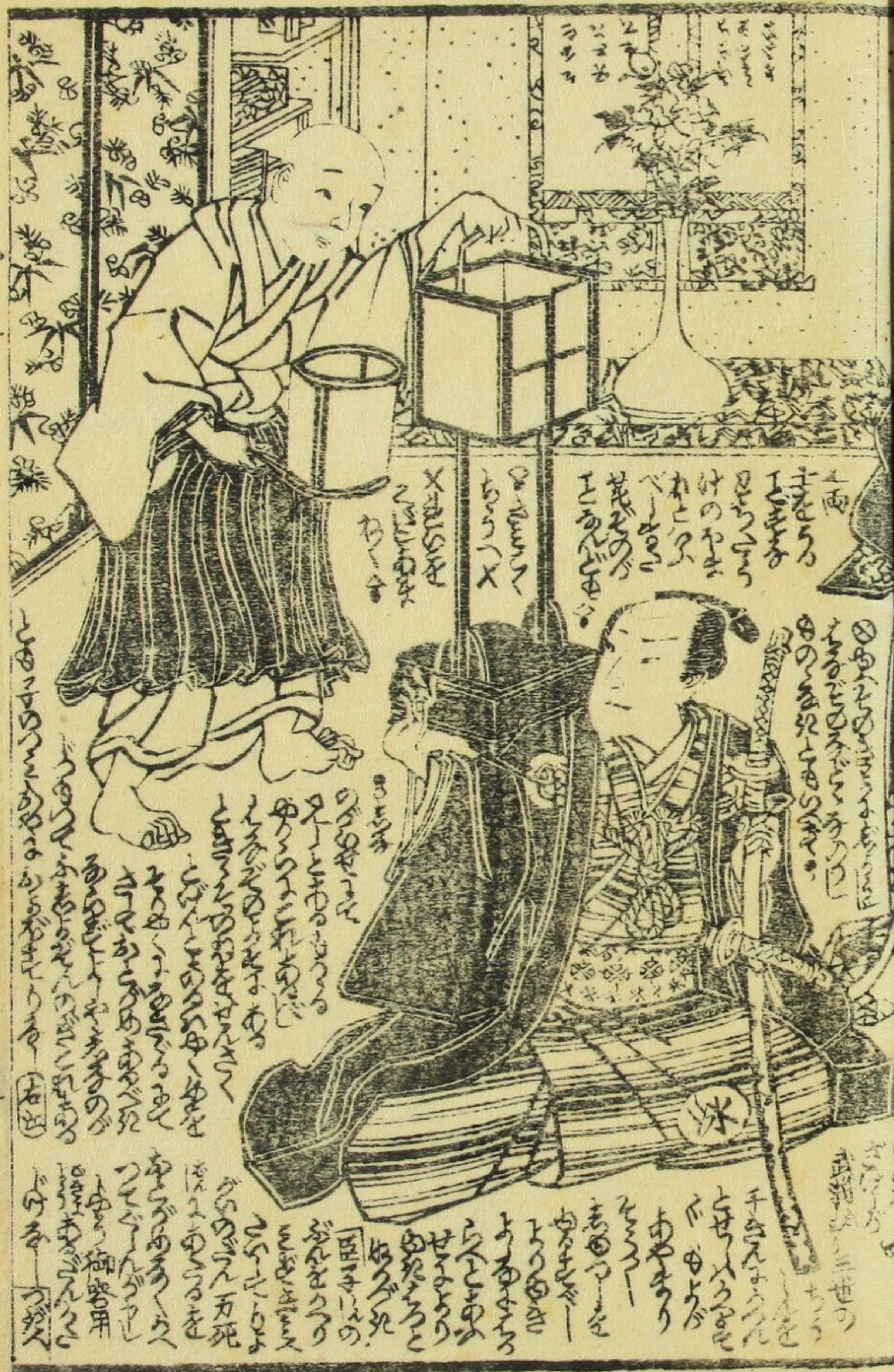


山名陸左衛門

偽花園

あの朝で
炊陽喰ひ

足利義満



Handwritten text in the left margin, including the characters '五' and '下'.

Handwritten text in the upper part of the illustration, including the characters '三', '世', 'の', '世', 'の', '世'.

Handwritten text in the middle part of the illustration, including the characters '三', '世', 'の', '世', 'の', '世'.

Handwritten text in the lower part of the illustration, including the characters '三', '世', 'の', '世', 'の', '世'.



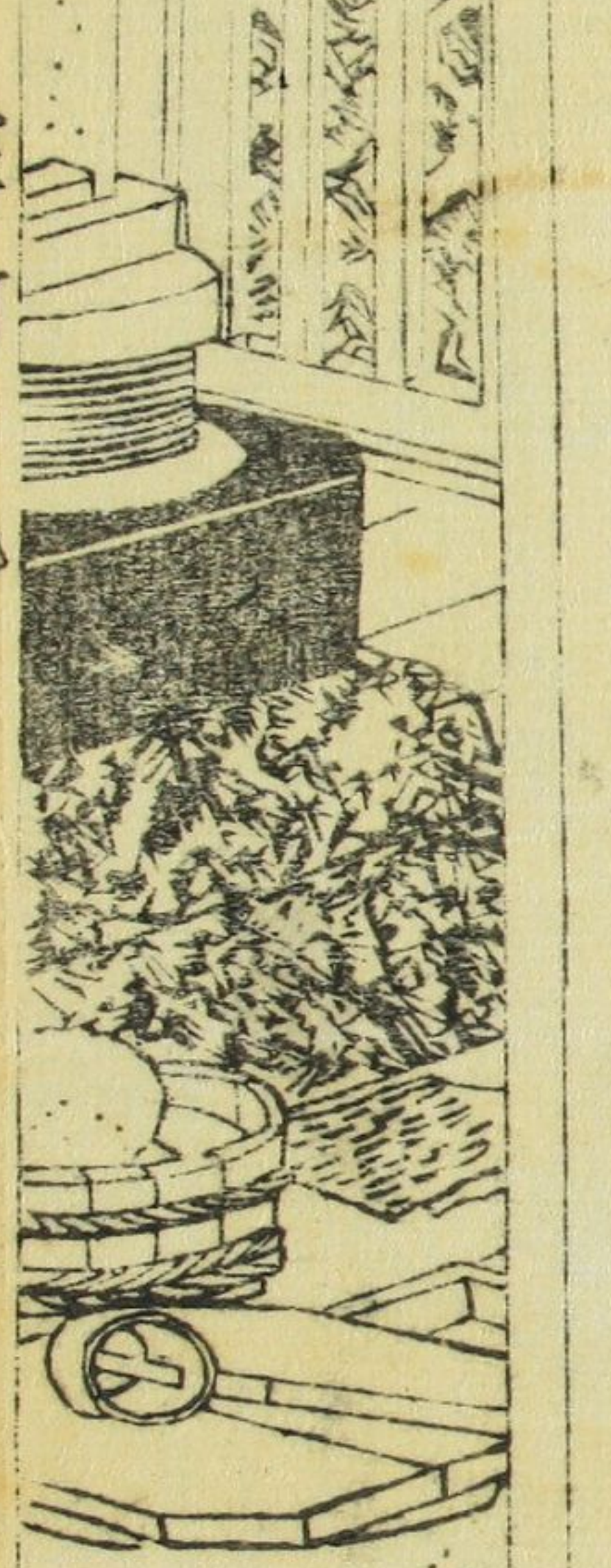
Handwritten text in the upper left part of the illustration, including the characters '忠', '士', 'の', '異', '朝'.

Handwritten text in the upper right part of the illustration, including the characters '忠', '士', 'の', '異', '朝'.

Handwritten text in the middle part of the illustration, including the characters '忠', '士', 'の', '異', '朝'.

Handwritten text in the lower part of the illustration, including the characters '忠', '士', 'の', '異', '朝'.

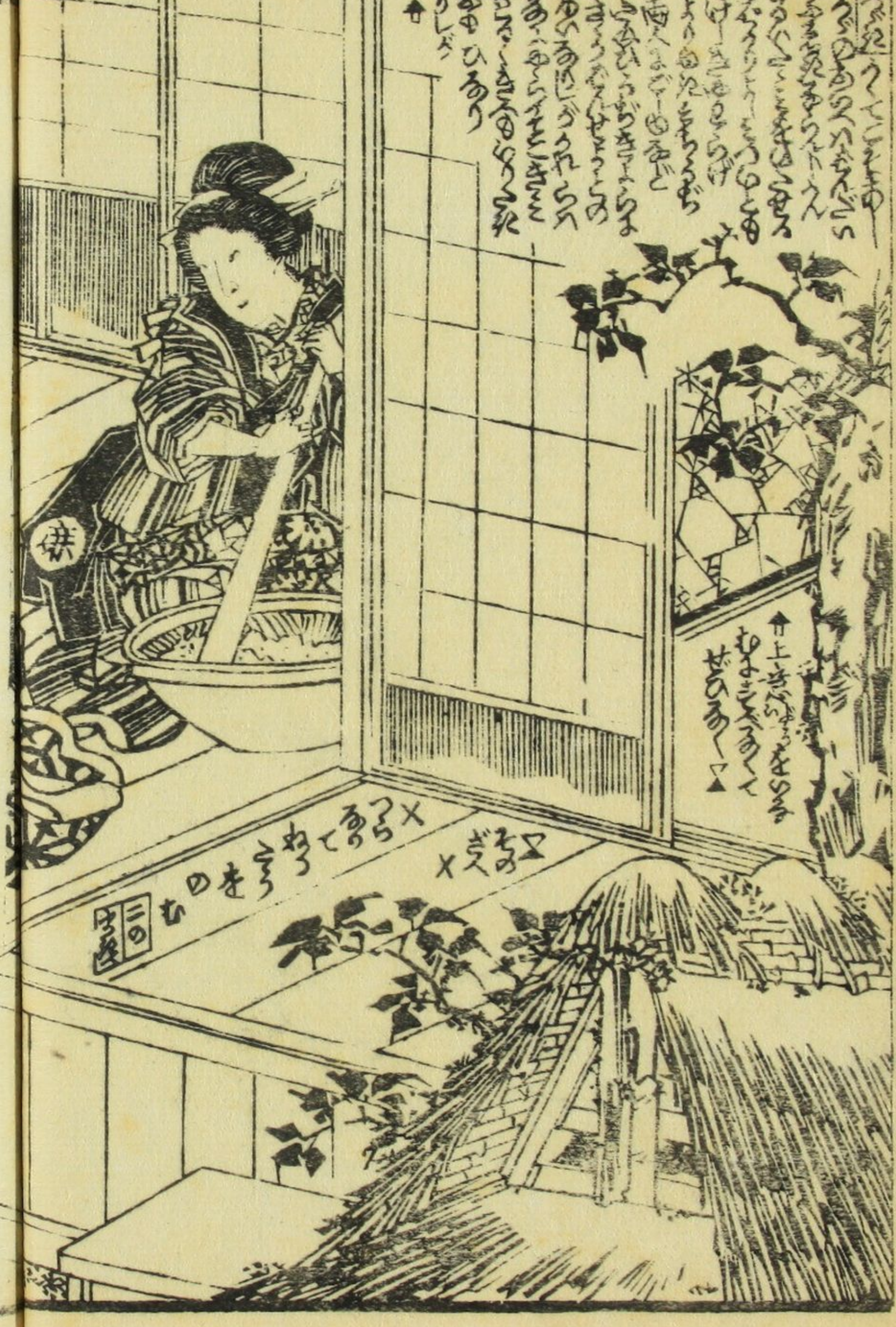
一四
 此の
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十



此の
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十



此の
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十



此の
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十



室町十

七

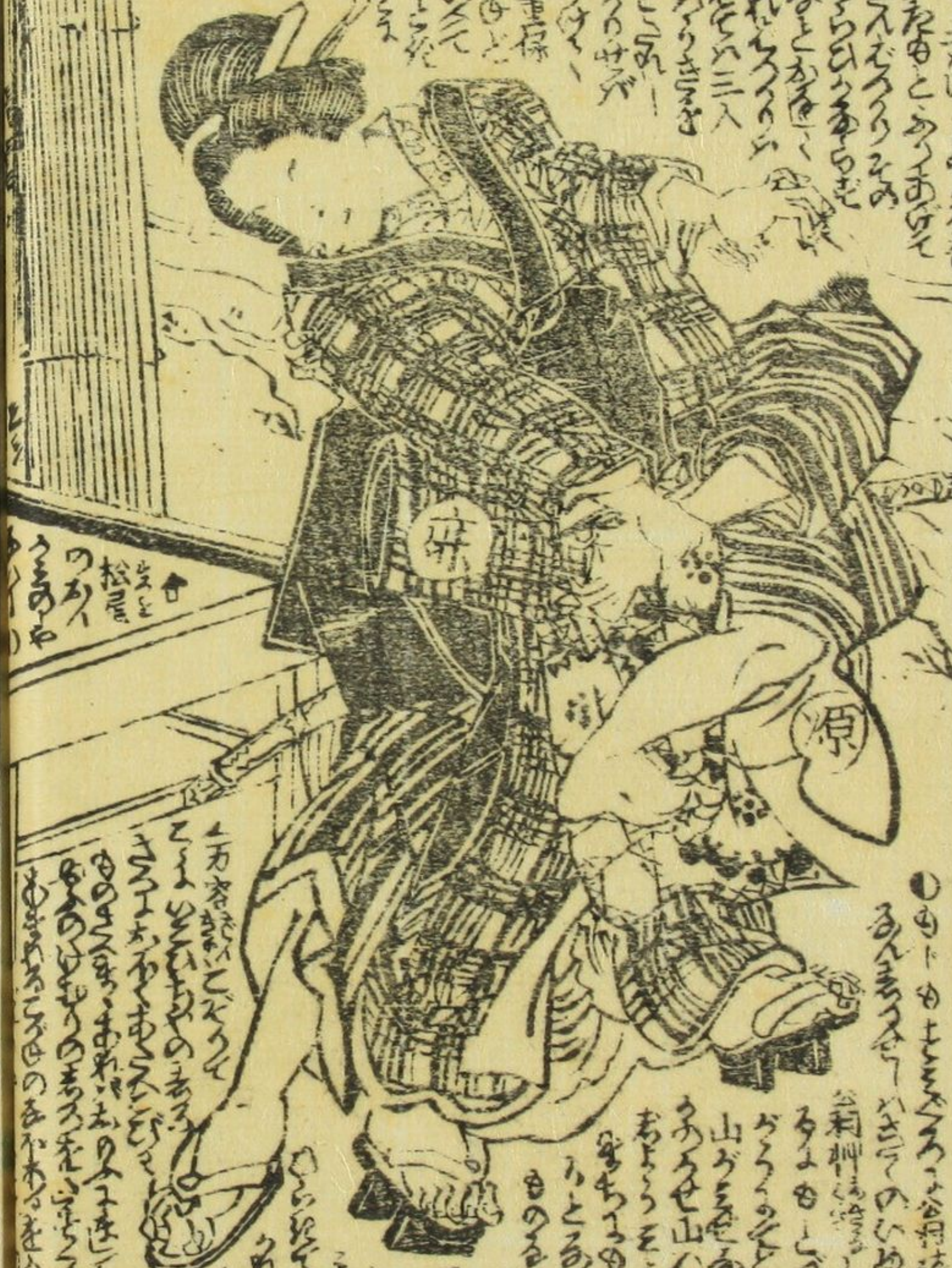


室町十

七

種彦作 國貞画

種彦作の國貞画は、
 山々亭有人作の
 錦朝樓芳瑞馬
 出板の五編近
 山々亭有人作
 陽春豊國画
 紅英堂 葛吉



種彦作の國貞画は、
 山々亭有人作の
 錦朝樓芳瑞馬
 出板の五編近
 山々亭有人作
 陽春豊國画
 紅英堂 葛吉

實母散

山々亭有人作
 錦朝樓芳瑞馬
 出板の五編近
 山々亭有人作

種彦作の國貞画
 山々亭有人作
 錦朝樓芳瑞馬
 出板の五編近
 山々亭有人作

柳蔭月朝妻

山々亭有人作
 錦朝樓芳瑞馬
 出板の五編近
 山々亭有人作

種彦作の國貞画
 山々亭有人作
 錦朝樓芳瑞馬
 出板の五編近
 山々亭有人作

藪黃鵬八幡不知

山々亭有人作
 錦朝樓芳瑞馬
 出板の五編近
 山々亭有人作

種彦作の國貞画
 山々亭有人作
 錦朝樓芳瑞馬
 出板の五編近
 山々亭有人作

阿玉ヶ池梯月形

山々亭有人作
 錦朝樓芳瑞馬
 出板の五編近
 山々亭有人作

種彦作の國貞画
 山々亭有人作
 錦朝樓芳瑞馬
 出板の五編近
 山々亭有人作

地本綿繪團扇問屋

種彦作の國貞画
 山々亭有人作
 錦朝樓芳瑞馬
 出板の五編近
 山々亭有人作

種

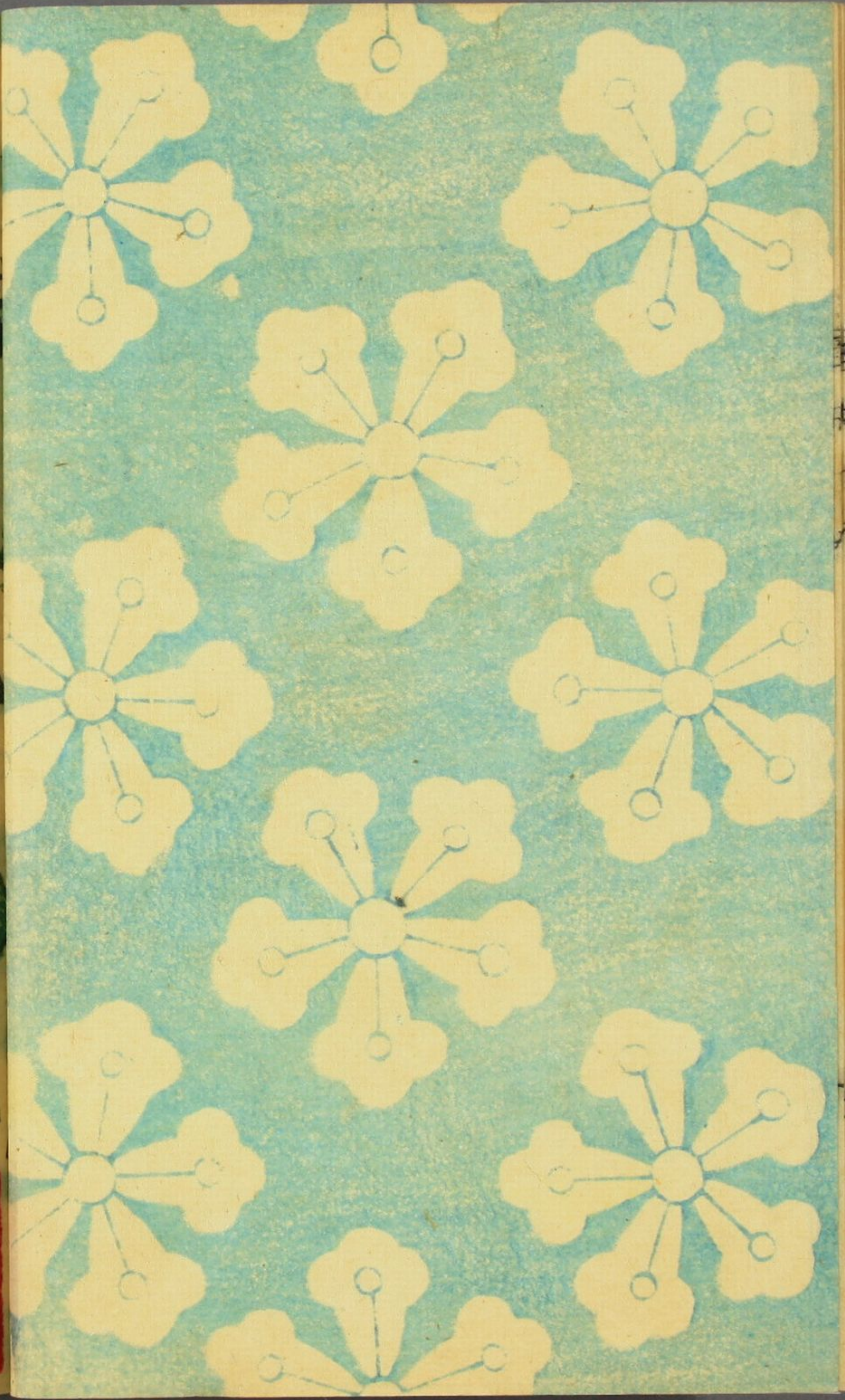


乃卷

國貞通



十九編下





社頭社の
くんとあやう
あつてあり
つらつらんの
まきこるや
らちんけい合

ゆのむじゅう
うき山それと
あつてあつて
ちんけいあつて
やまやうへ
そあつて
あつてあつて
あつてあつて

下の番
あつてあつて
あつてあつて

怪町十九

あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて

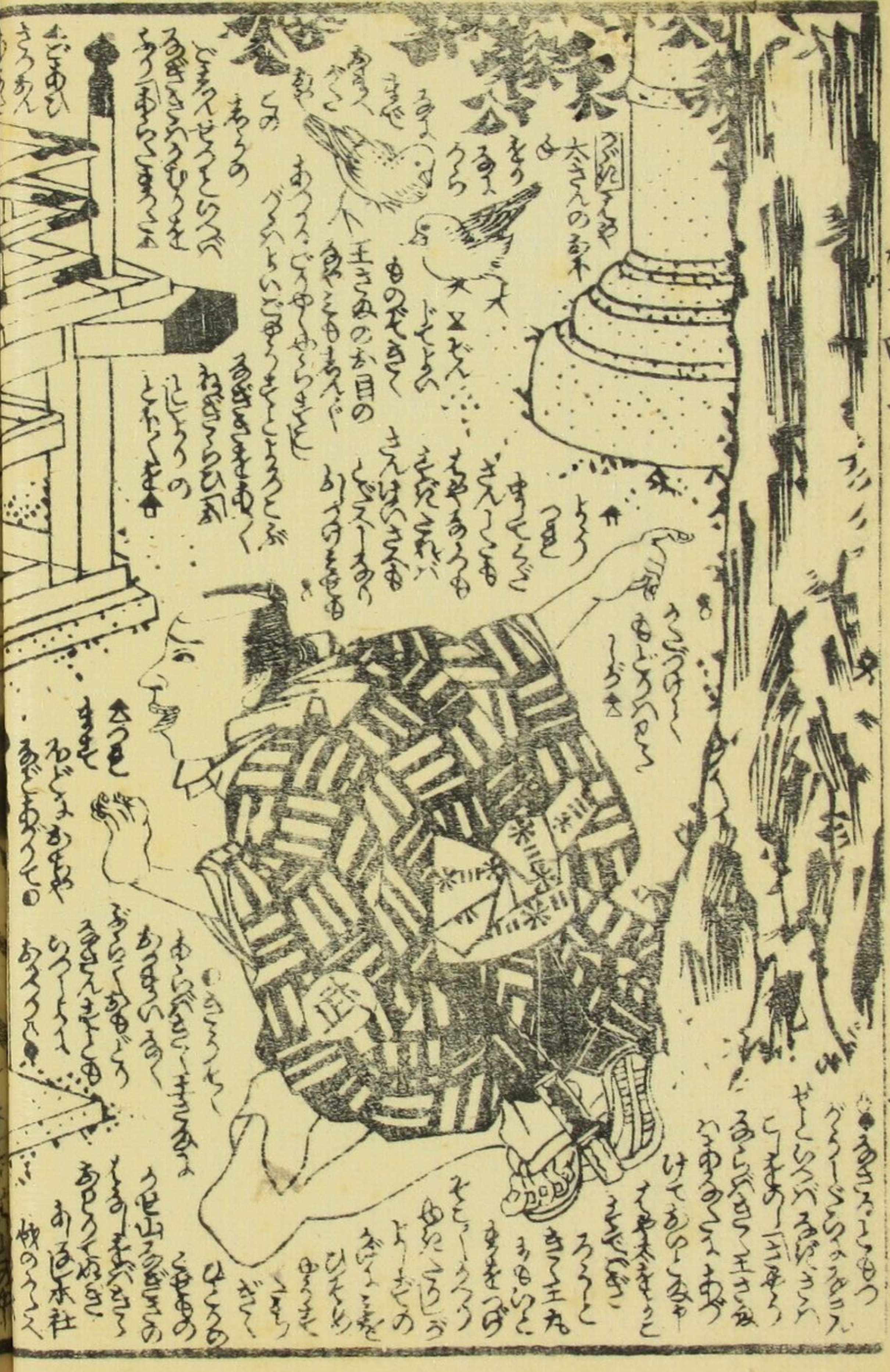
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて





さうあは
かきおひ

五所
武著
のり
かや
かき



さうあは
かきおひ

さうあは
かきおひ

五所
武著
のり
かや
かき

三田一

十一



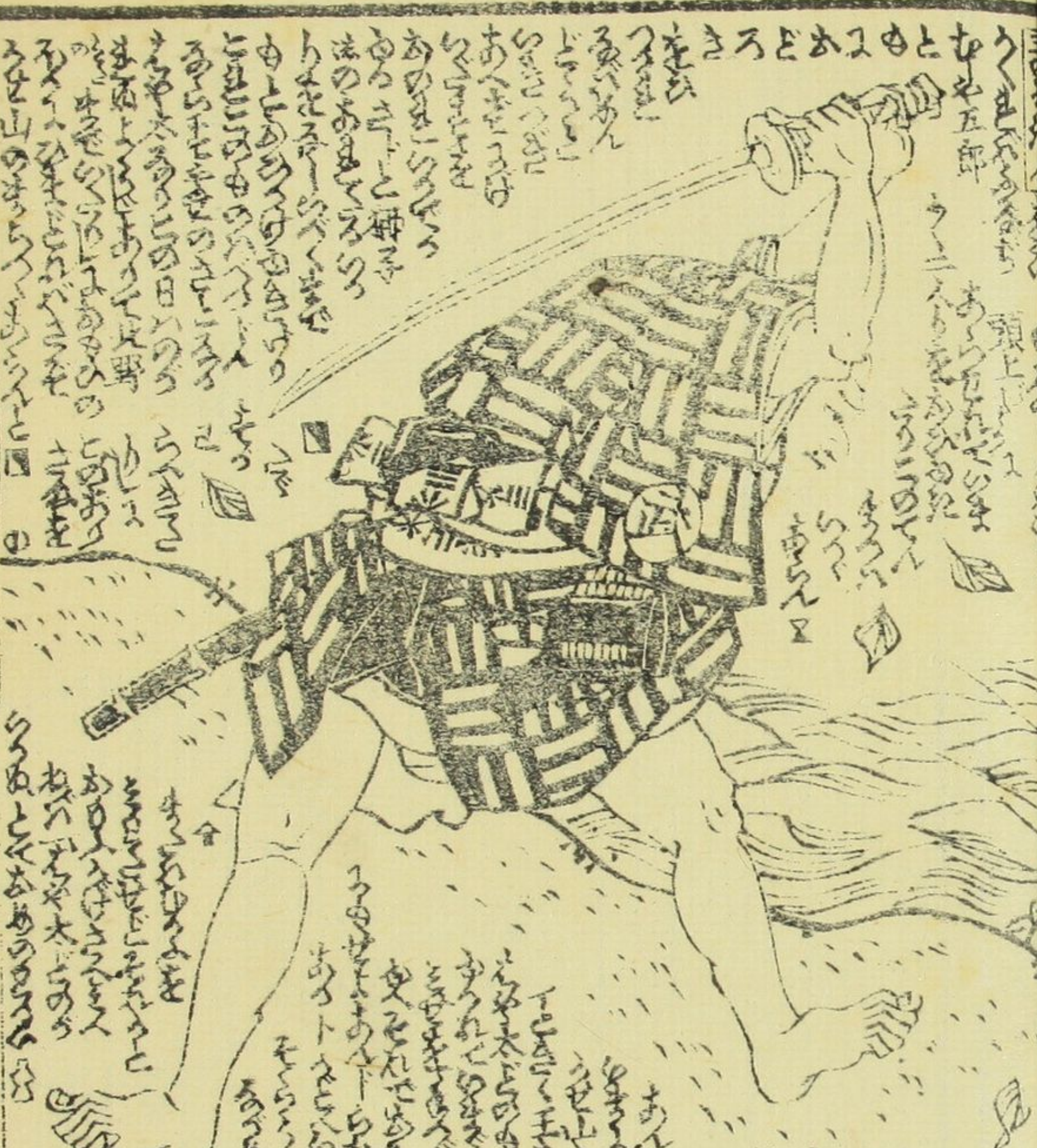
Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary related to the illustration. The text is written in a cursive style, typical of Edo-period Japanese manuscripts.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary from the left page. The text is written in a cursive style, typical of Edo-period Japanese manuscripts.



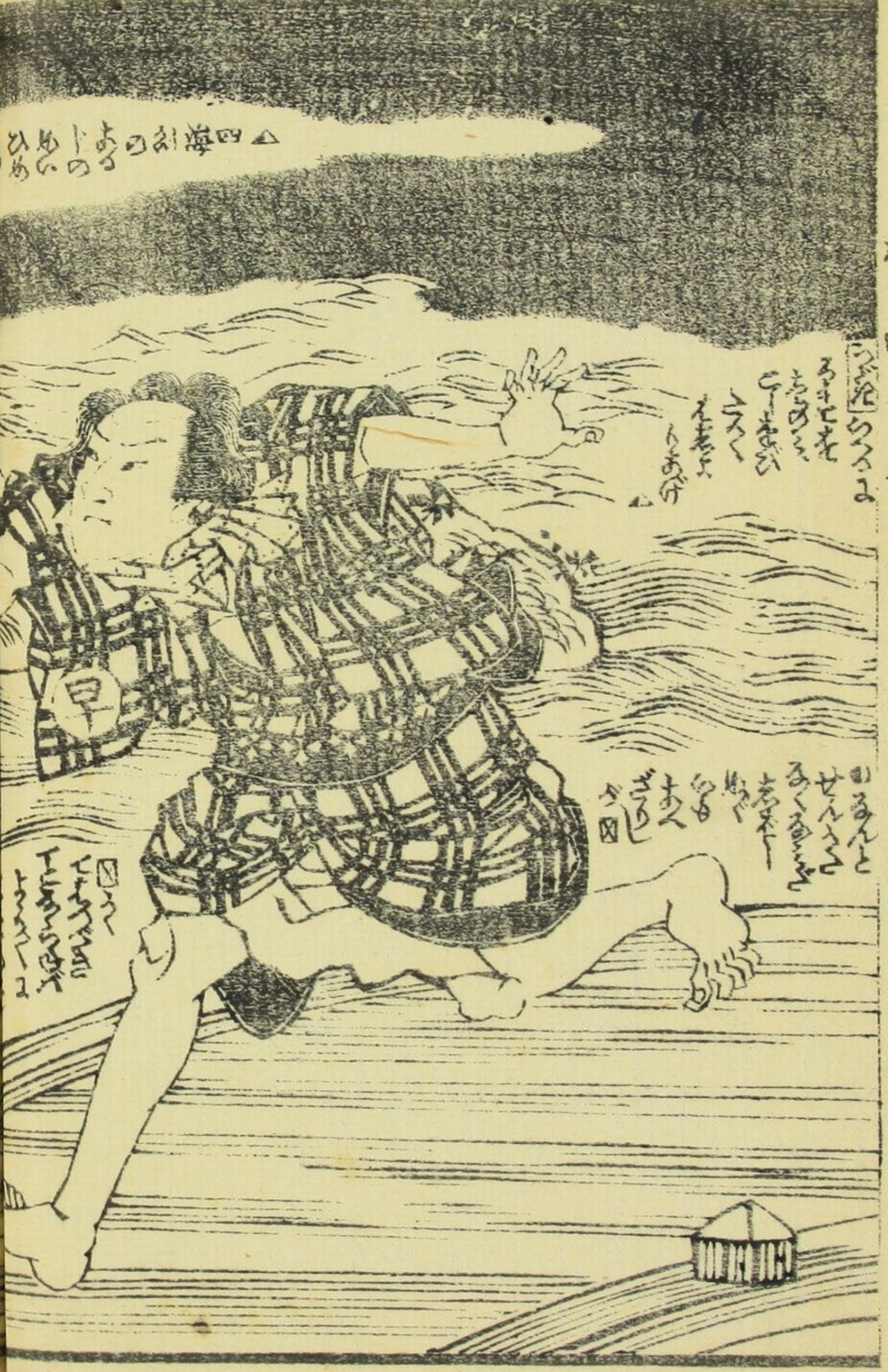
天智天皇の御宇に 武蔵守藤原鎌足が 武蔵守藤原鎌足が 武蔵守藤原鎌足が... (Main text on the left page)



武蔵守藤原鎌足... (Text at the bottom of the left page)

武蔵守藤原鎌足... (Main text on the right page)





田舎の
山田

田舎



あはれとありあり月
のひかりをまはりし
と松が崎まはりのつげも

東北
高野
大原
叡山

室町十九



室町十九

十七

あはれとありあり月
のひかりをまはりし
と松が崎まはりのつげも

あはれとありあり月
のひかりをまはりし
と松が崎まはりのつげも

あはれとありあり月
のひかりをまはりし
と松が崎まはりのつげも



田中
三郎
九郎

田中
三郎
九郎

種六作

室田 十六



明治七年甲戌陽春開板標目

厚化粧萬年嶋田

八編 春水作
十編 國貞画

室町源氏胡蝶卷

廿三編 種彦作
出板 國貞画

鼠祠通夜譚

八編 種彦作
出板 國貞画

童謡妙々車

二十五編 種彦作
出板 國貞画

薄俤幼日記

廿二編 春水作
出板 國貞画

七幼き葛飾譚

十編 種彦作
出板 國貞画

新哥九尾傳

十三編 春水作
出板 國貞画

筆海四國聞書

十三編 種彦作
出板 國貞画

明鴉墨画短襦褌

十五編 種彦作
出板 國貞画

花封答玉章

十編 種彦作
出板 國貞画

八犬傳大の友紙

十五編 柳亭作
出板 國貞画

南傳馬町壹丁月
葛屋吉藏板



室町源氏胡蝶
卷柳三種之図
仙梅障子画圖



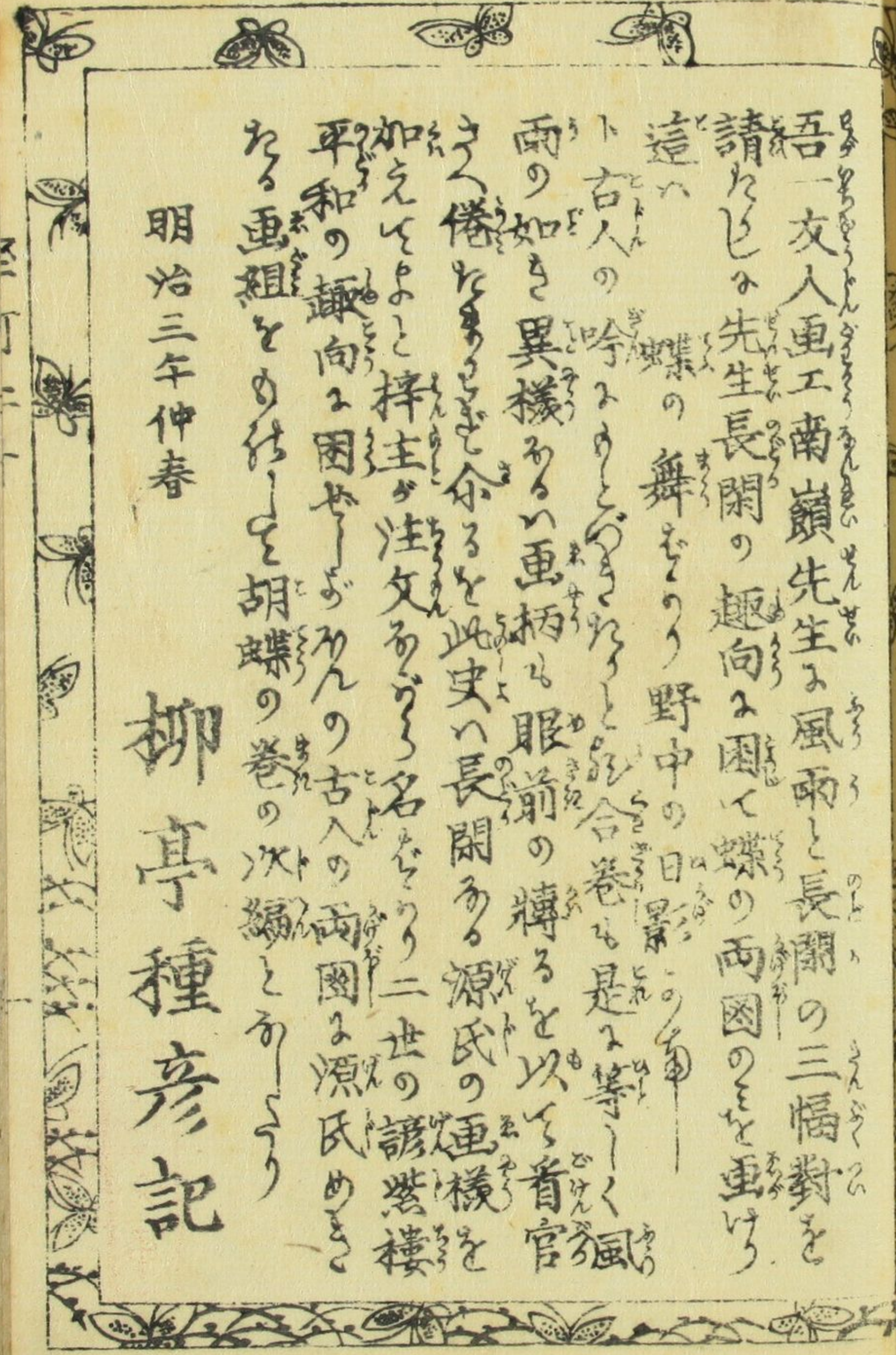
上



吾一友人画工南嶺先生風雨と長閑の三幅對を
請けしむ先生長閑の趣向に困て蝶の両図のそを垂けり
這の古人の吟よりとて野中の日影のそを
雨の如き異様ある画柄も眼前の構るを以て首官
さく倦たもるを此史の長閑ある源氏の趣様を
如えよよと梓主が注文ありて名をとり二世の諺悉樓
平和の趣向に困てやぶらん古人の両圖に源氏めき
たる画組とめしむを胡蝶の巻の次編とありしなり

明治三年仲春

柳亭種彦記





賊主丹波助太郎
本名東山民部

掉麻

麻山名



阿邊菊王丸

胡蝶
實の名ハ
花園姫

此の如くは、
 神の御魂を
 奉りて、
 世に
 行はせ
 給ふ
 事なり
 神の御魂
 奉りて、
 世に
 行はせ
 給ふ
 事なり
 神の御魂
 奉りて、
 世に
 行はせ
 給ふ
 事なり



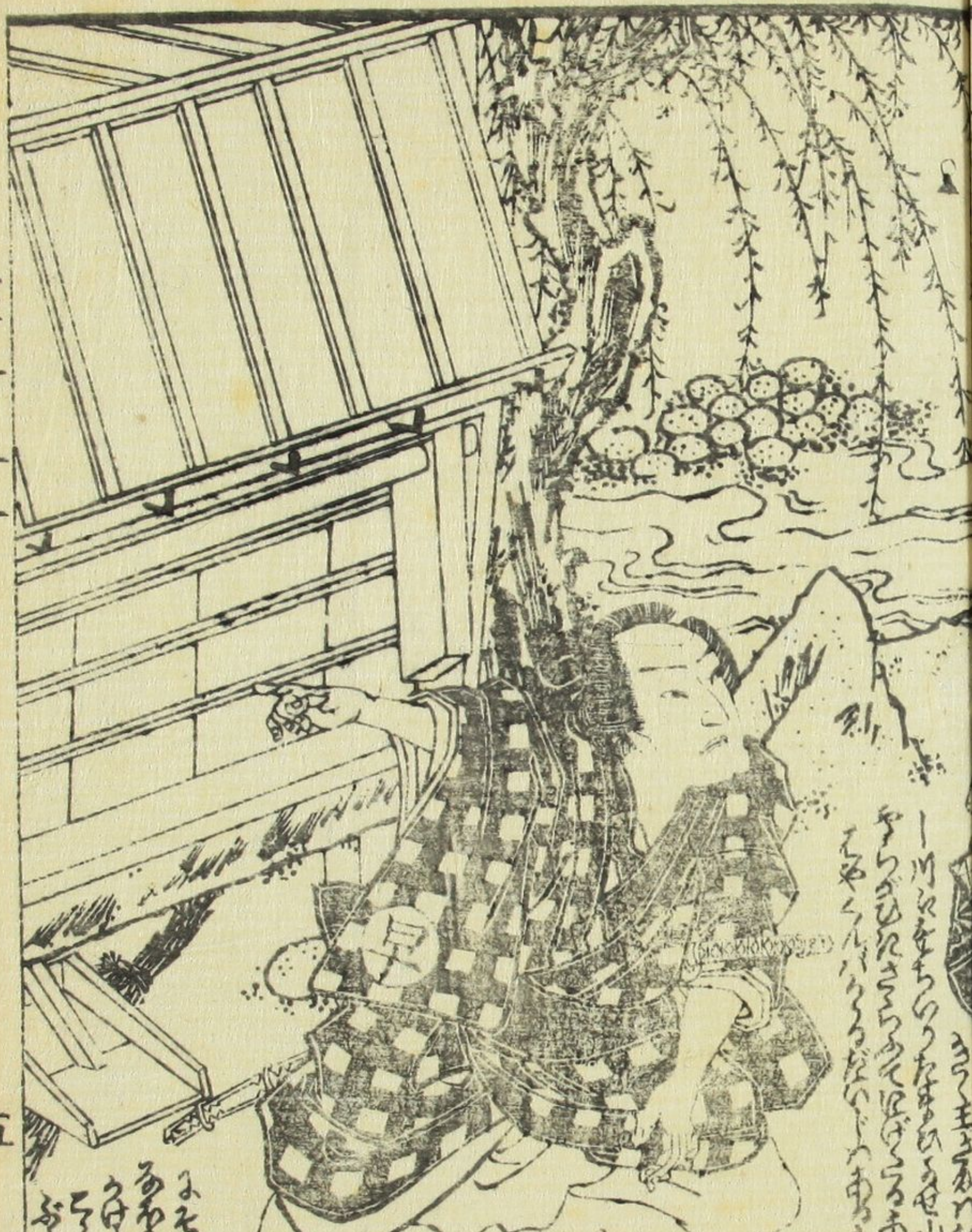
此の如くは、
 神の御魂を
 奉りて、
 世に
 行はせ
 給ふ
 事なり
 神の御魂
 奉りて、
 世に
 行はせ
 給ふ
 事なり
 神の御魂
 奉りて、
 世に
 行はせ
 給ふ
 事なり



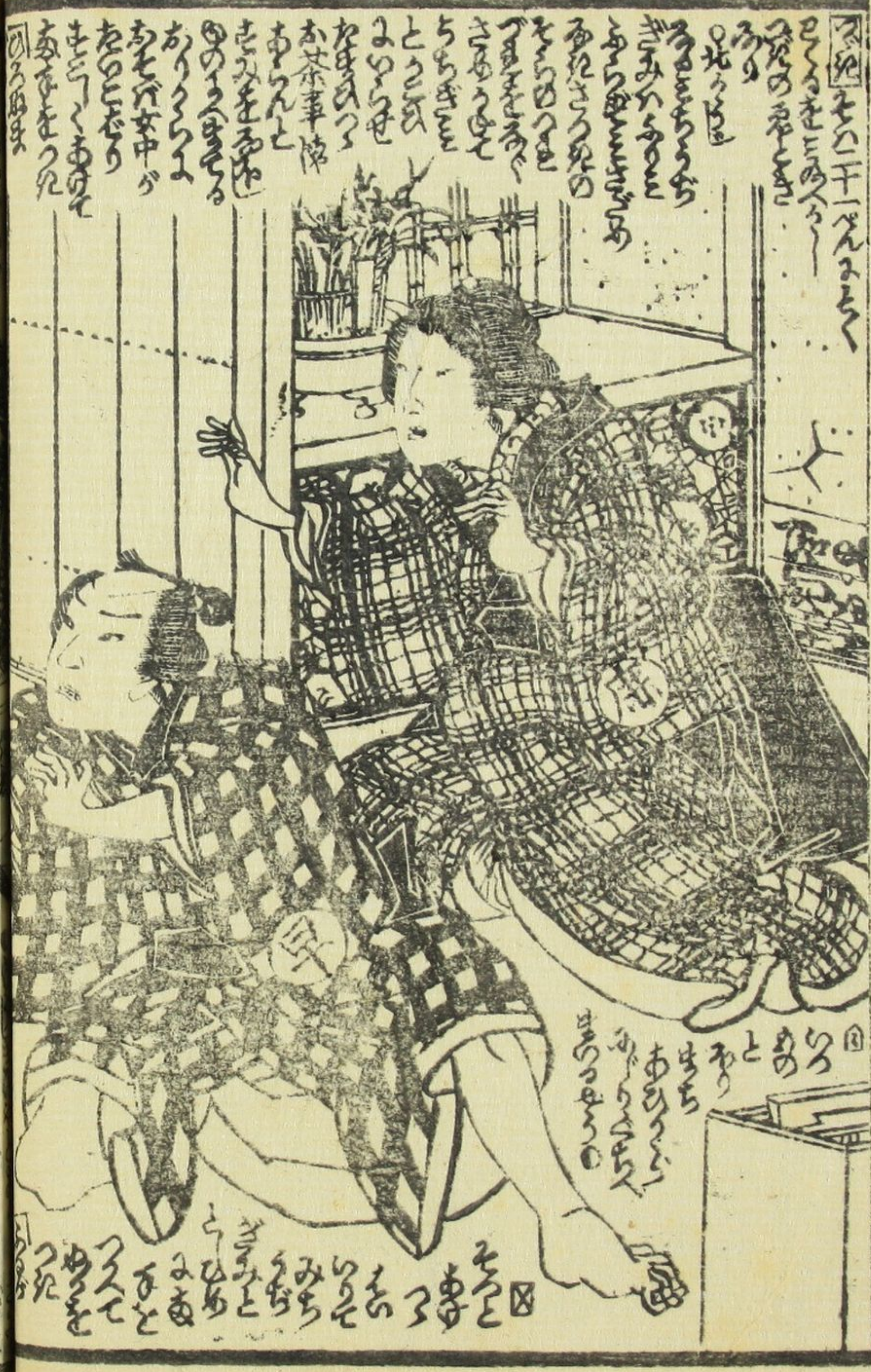
一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、



一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、



一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、



Handwritten text in Japanese and Latin characters at the top of the right page, including words like "Romana", "Lupinus", and "Sesamum".

Handwritten text in Japanese and Latin characters at the bottom of the right page, including words like "Sesamum", "Lupinus", and "Romana".



Handwritten text in Japanese and Latin characters at the top of the left page, including words like "Romana", "Lupinus", and "Sesamum".

Handwritten text in Japanese and Latin characters at the bottom of the left page, including words like "Sesamum", "Lupinus", and "Romana".

あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち

あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち

あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち

あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち



柳亭種彦作

あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち

賞母散

あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち

あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち

柳陰月朝妻

あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち

藝黃鷗八幡不知

あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち

阿玉池榭月形

あつちうちうちうちうち
 あつちうちうちうちうち

地本錦繪團扇問屋

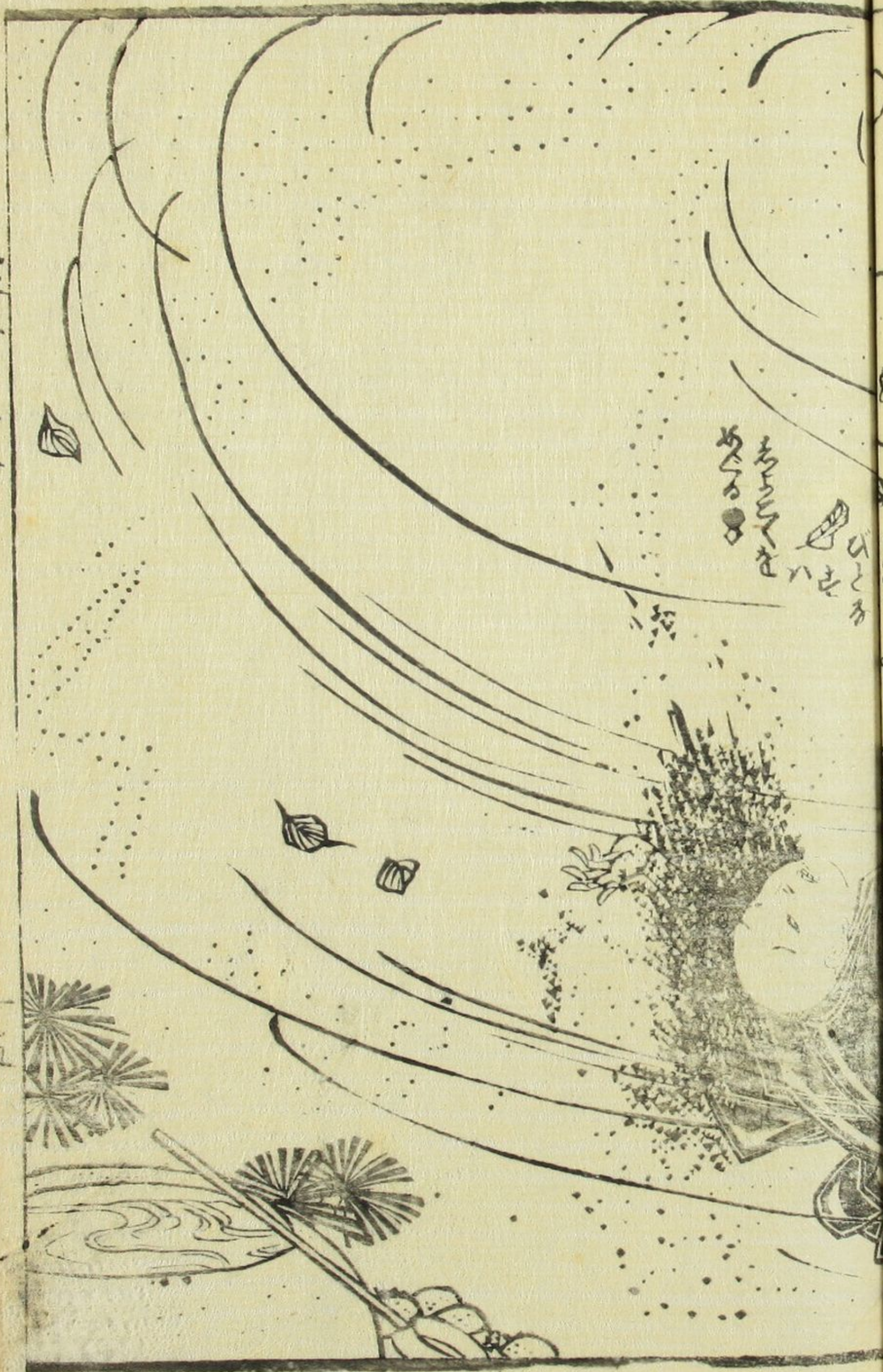
為英堂 葛吉



玉手
原氏
乙女
乙女
乙女

世痛下





あまのこころ
をわたせしん
とあらが
なま

合廿一
えまを
たをく
「丁かあてのあまの
あまのこころ
とこころあまのこころ
朝日あまのこころ
の盤若あまのこころ
よそあまのこころ
あまのこころ

あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ



三田

十五



五十一

Handwritten text in vertical columns, likely a chapter or section title, written in a cursive style.



Handwritten text in vertical columns, likely a chapter or section title, written in a cursive style.

月夜 山崎 三郎 助太郎 二人は
 草花 薔薇 牡丹 芍薬 紫陽花
 藤 百合 桔梗 朝顔 大波斯菊
 など 咲き 満ち 花の 香気
 芳しく 薫る 空に 月影
 照らす 涼しい 夜



あつちやう
 のよめ
 まさか
 らあ
 らあ
 あり
 あり

十九 月夜は 静かに 花の 影を 照らす
 風は 涼しく 吹く 空に 月影
 照らす 涼しい 夜

あつちやう
 のよめ
 まさか
 らあ
 らあ
 あり
 あり



あつちやう
 のよめ
 まさか
 らあ
 らあ
 あり
 あり

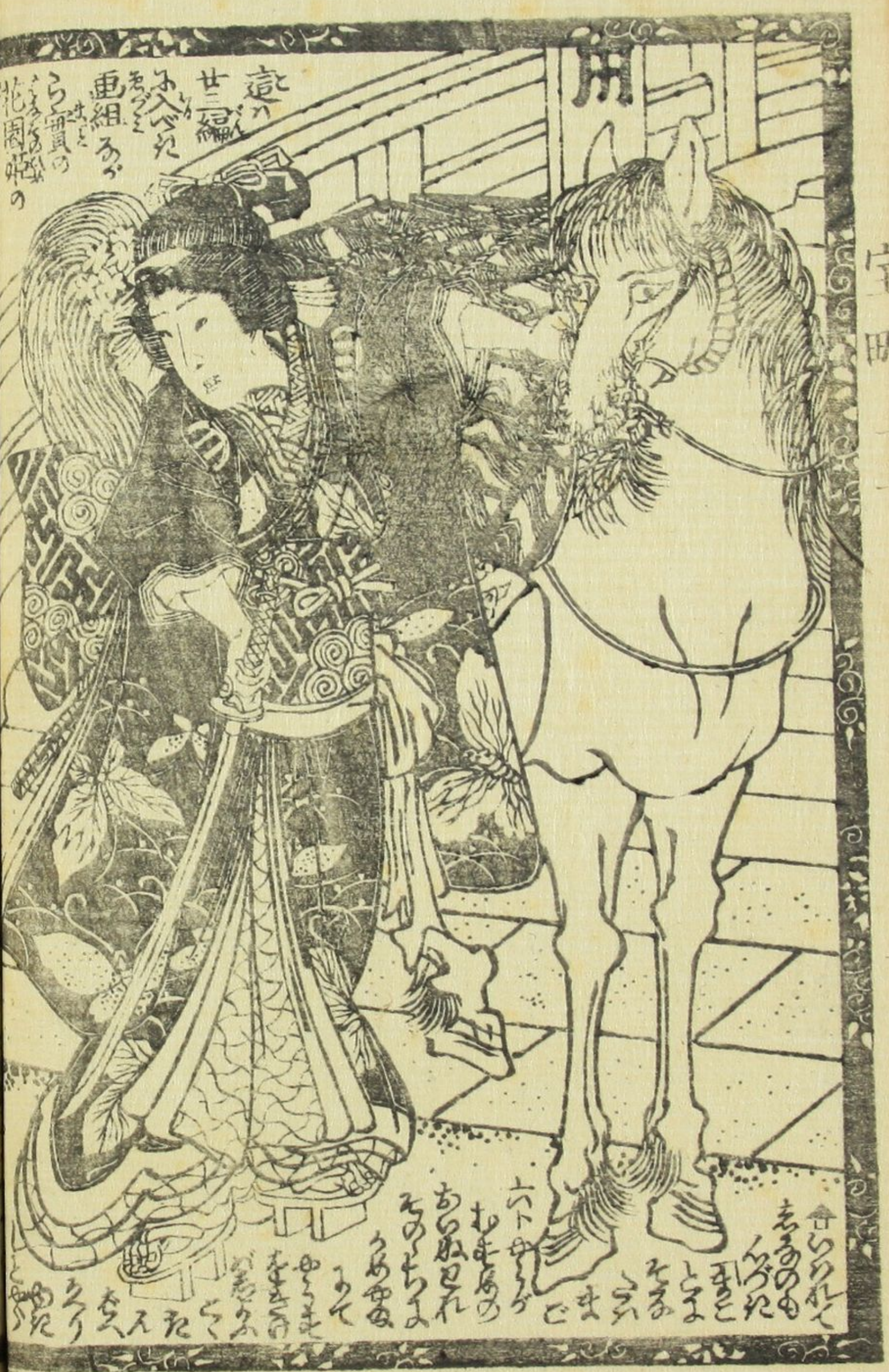


江老いせん
とて地野江
引揚て画一は

つた助太郎あつと
あひひまさらあして
どもらよ見あ
お入のあ男あ
あびのささりま
まてらるるん
アをまてくあま
このんをまのせ
のまよあ山
よあまて
とじの
あまま
ひひひ
あんこ
あら
ま

四十一

あつた助太郎あつと
あひひまさらあして
どもらよ見あ
お入のあ男あ
あびのささりま
まてらるるん
アをまてくあま
このんをまのせ
のまよあ山
よあまて
とじの
あまま
ひひひ
あんこ
あら
ま



用

廿三編
あ入
重組
花周の

守田

あつた助太郎あつと
あひひまさらあして
どもらよ見あ
お入のあ男あ
あびのささりま
まてらるるん
アをまてくあま
このんをまのせ
のまよあ山
よあまて
とじの
あまま
ひひひ
あんこ
あら
ま

種彦作



厚化粧萬年場田

八編 春水作 國貞画

新島元尾傳

十三編 春水作 國貞画

室町源氏胡蝶卷

廿三編 種彦作 國貞画

筆海四國聞書

十三編 種彦作 國貞画

鼠祠通夜譚

八編 種彦作 國貞画

明鴉墨画題補格

十五編 種彦作 國貞画

童謡妙々車

二十五編 種彦作 國貞画

花封香玉章

十編 種彦作 國貞画

薄俤幼日記

廿九編 春水作 國貞画

八犬傳大の奴紙

五十五編 柳亭作 國貞画

七幼々葛飾譚

十編 種彦作 國貞画

萬屋吉藏板

南無馬町堂

宗源
胡蝶
老



北一
篇上



室町源氏胡蝶
卷柳 各種之尺
他梅 陳時馬圖

上



八百善で魚類と異、濱より揚るるや、ねど風味別あり如く、思ふに全く暖簾の徳ありんと、いふ人あり、左の調理の精巧余所他二倍せし所のありを、止る合巻も近年の紅英堂の梓ありぬ、有官が愛の、是る暖簾の徳といふ、刻成迎の主人が丹情余所の書肆といふ大に異あり、故に此史の如く、拙き中の拙作、又魚を申さば二日賣されど仕立の割意、他家の及ぬ所あり、配りの難が賣切を断る程の事と、聞既、此編前編の豆ぬを補ひ、山谷の事を専ら記せし、山谷といふ字、八百善を思ひ寄る、此席とあり

柳亭一白翁



義忠太

丁



細次郎

廣沼信濃

田



廿五日の夜
かづのま
まかづ
小どく
山(の)わり
しんすけ

あふち
あふち
あふち
あふち
あふち
あふち

あふち
あふち
あふち
あふち
あふち
あふち

あふち
あふち
あふち
あふち
あふち
あふち

偽花園の秋津



美川冬景

宝田七一





宇田十一

五

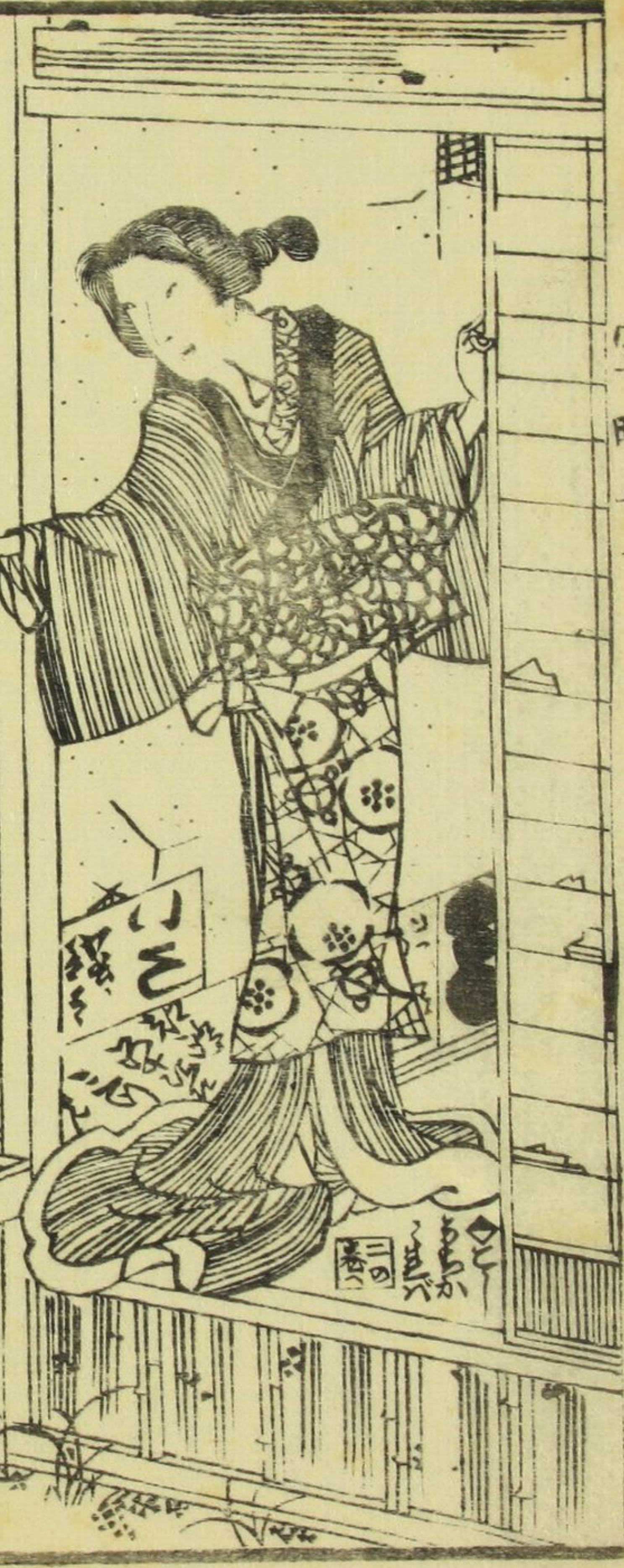
五



お前さんおや
そなたのまは
かまお
まゝよ
おのの
あらねどそれ
きんぎょ
あらねどそれ
かまお
まゝよ
おのの
あらねどそれ
きんぎょ

おのの
あらねどそれ
きんぎょ

おのの
あらねどそれ
きんぎょ



お前さんおや
そなたのまは
かまお
まゝよ
おのの
あらねどそれ
きんぎょ
あらねどそれ
かまお
まゝよ
おのの
あらねどそれ
きんぎょ

おのの
あらねどそれ
きんぎょ

おのの
あらねどそれ
きんぎょ



宝田十一

十一

あつりきよとて
かきかきあはせり
十三人十四人あつりきよとて

あつりきよとて
あつりきよとて
あつりきよとて

あつりきよとて
あつりきよとて
あつりきよとて

あつりきよとて
あつりきよとて
あつりきよとて

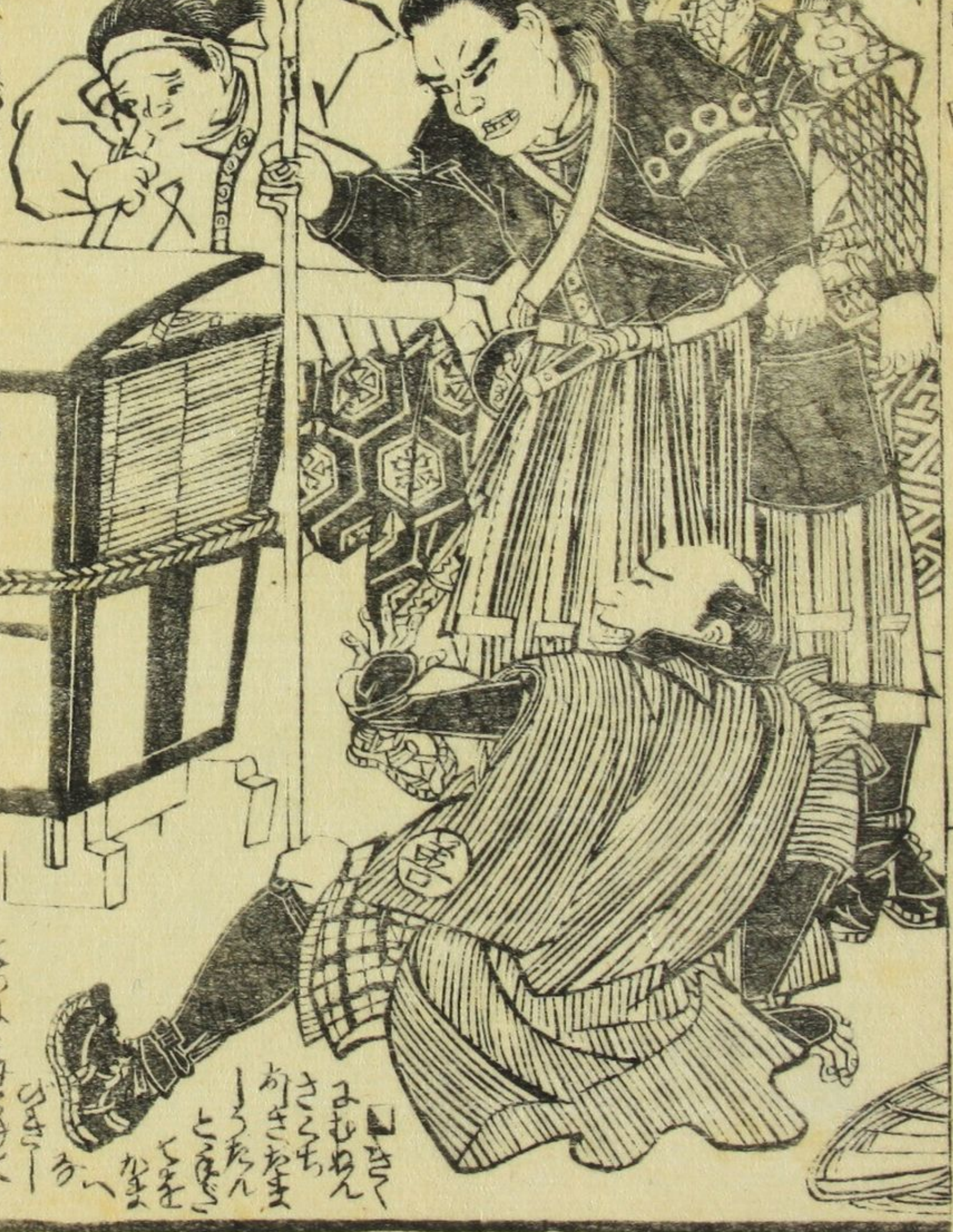
あつりきよとて
あつりきよとて
あつりきよとて

あつりきよとて

あつりきよとて

あつちのあつちの
つちのつちの
大つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの

あつちのあつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの



あつちのあつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの

あつちのあつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの



あつちのあつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの
つちのつちの



種彦作
國貞画

白のひまわりを
ひまわりとよま
るまをひまわり
あつてひまわり

實母散

さんざんさんご
ふとんちりま
四つあみ

十條南傳馬町東洲
千葉堂若柳製

柳蔭月朝妻

六編連
出板

山々亭有人作
桃朝横國貞画

藪黄鵬八幡木知

五編連
出板

山々亭有人作
錦朝横若柳画

阿玉々池櫛月形

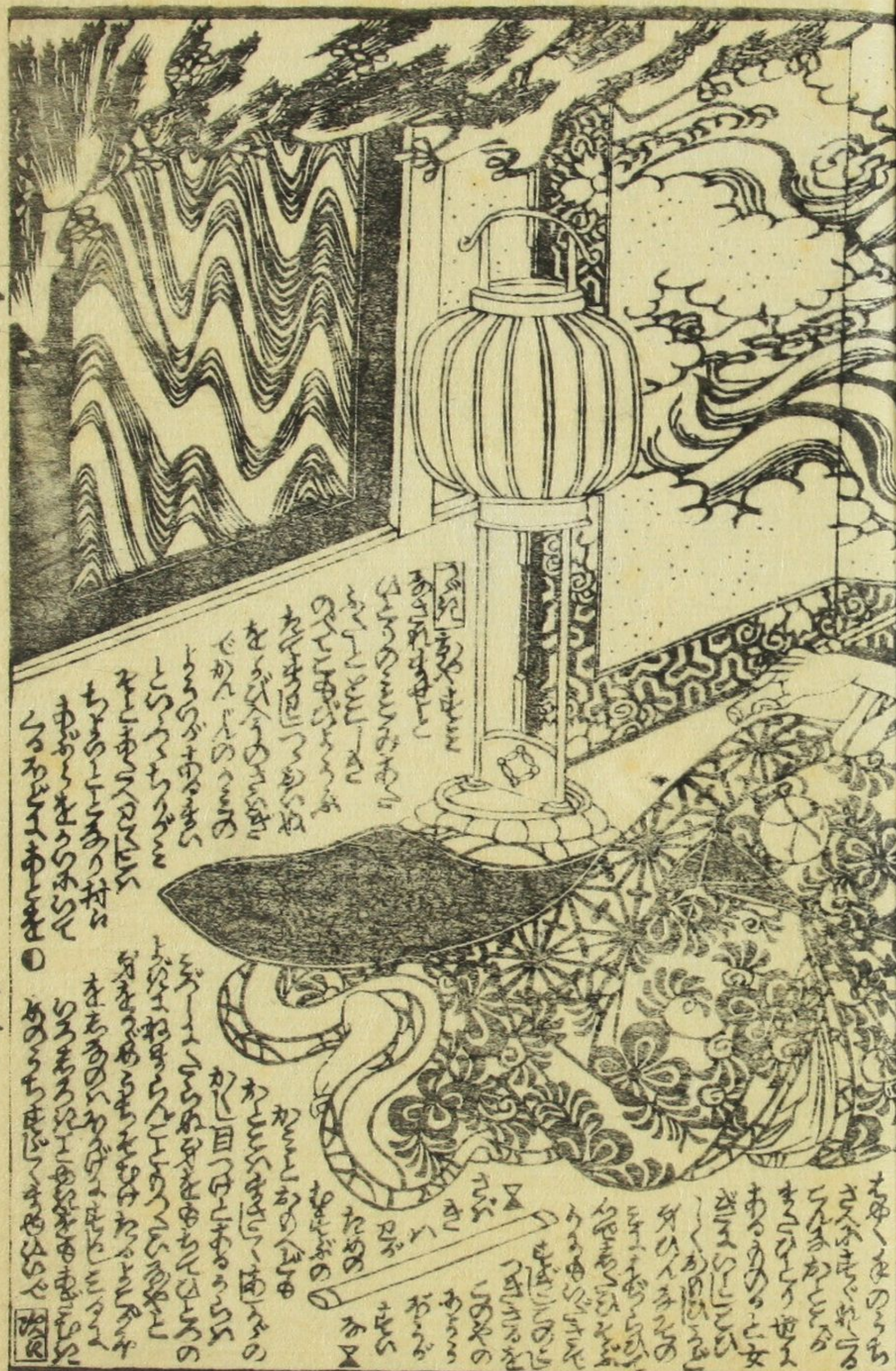
初編連
追々出板

山々亭有人作
陽杏豊國画

地本綿繪團扇問屋

紅英堂 葛島吉





あつちをうすめりて
 くらあつちをくま
 そのまゝにらんく
 ちよるごとまり村の
 ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま

ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま
 そのまゝにらんく
 ちよるごとまり村の
 ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま

ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま
 そのまゝにらんく
 ちよるごとまり村の
 ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま

あつちをうすめりて
 くらあつちをくま
 そのまゝにらんく
 ちよるごとまり村の
 ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま



ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま
 そのまゝにらんく
 ちよるごとまり村の
 ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま

ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま
 そのまゝにらんく
 ちよるごとまり村の
 ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま

ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま
 そのまゝにらんく
 ちよるごとまり村の
 ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま

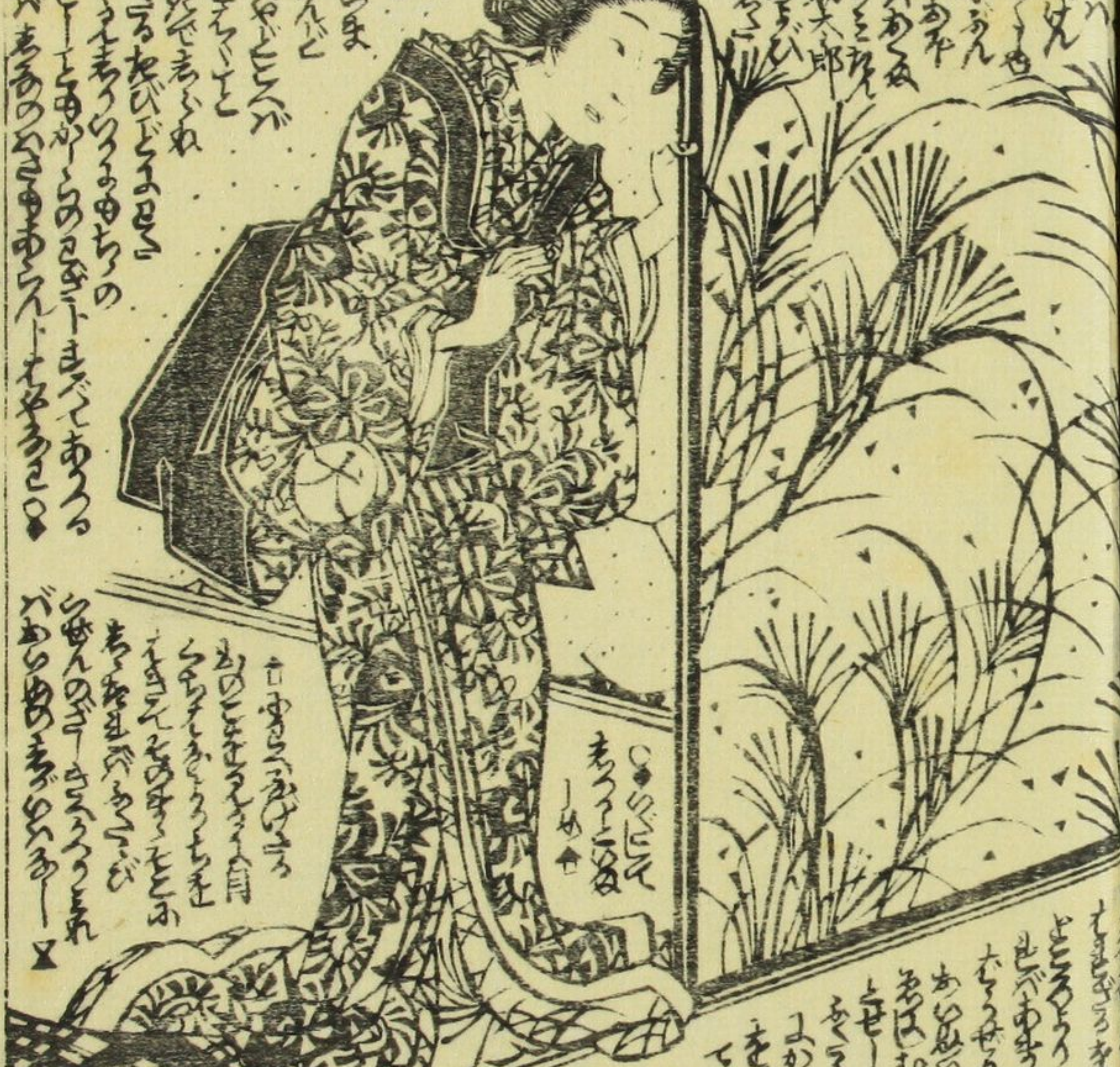
あつちをうすめりて
 くらあつちをくま
 そのまゝにらんく
 ちよるごとまり村の
 ちよるをうすめりて
 くらあつちをくま

わがこゝろは... (Vertical text column at the top of the right page)



あつちから... (Vertical text column at the bottom of the right page)

わがこゝろは... (Vertical text column at the top of the left page)



あつちから... (Vertical text column at the bottom of the left page)

新田十 (Vertical text on the far left margin)

Handwritten text in Japanese kuzushiji, organized into columns and paragraphs. Includes a large illustration of a traditional Japanese lamp (andon) hanging from a post on the left side. The text is dense and fills most of the page.



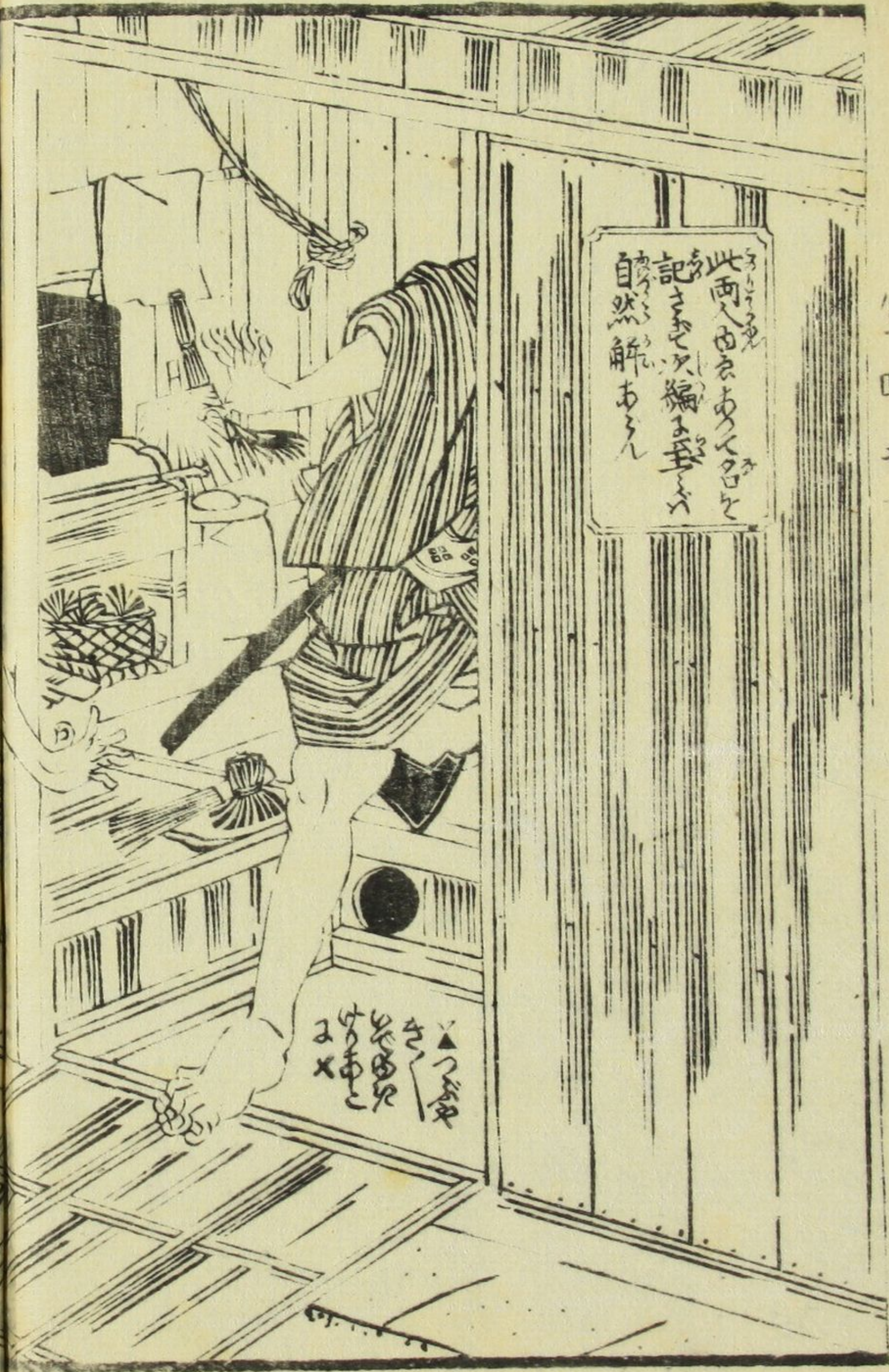
あま
かみ
しん
をば

あま
かみ
しん
をば

田
十

此兩人由來ありて名を
記しあひ編みまむ
自然解あらん

きんぎょ
きんぎょ
まゆ



あまのこゝろ
あまのこゝろ
あまのこゝろ
あまのこゝろ
あまのこゝろ

あまのこゝろ
あまのこゝろ
あまのこゝろ

あまのこゝろ
あまのこゝろ
あまのこゝろ
あまのこゝろ
あまのこゝろ



あまのこゝろ
あまのこゝろ
あまのこゝろ
あまのこゝろ
あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

厚化粧萬年嶋田

八編 春水作
十編 國貞画

室町源氏胡蝶卷

廿三編 種彦作
出板 國貞画

鼠祠通夜譚

八編 種彦作
出板 國貞画

童謡妙々車

二十五編 種彦作
出板 國貞画

薄倂幼日記

廿七編 春水作
出板 國貞画

七幼牛葛飾譚

十編 種彦作
出板 國貞画

新島九尾傳

十三編 春水作
出板 國貞画

筆海四國聞書

十三編 種彦作
出板 國貞画

明鴉墨画細繡襦

十五編 種彦作
出板 國貞画

花封苔玉章

十編 種彦作
出板 國貞画

八犬傳大の奴紙

五編 柳亭作
出板 國貞画

南傳馬町賣丁同
葛屋吉藏板



柳亭綴
國貞画

室田廿一

